

# 令和元年 富士見町重大ニュース

番号 (日付順)	項目	概要
①	コンビニ証明書交付サービスをスタート (3月1日)	6市町村共同構築によりマイナンバーカードを使って全国のコンビニ等で各種証明書を取得できるコンビニ証明書交付サービスをスタートしました。
②	しあわせ信州ご当地体操コンテスト最優秀賞受賞 (3月3日)	長野県が進める健康づくり県民運動「信州ACEプロジェクト」のコンテストにおいて、富士見町社会福祉協議会が考案した、オリジナル体操「諏訪郡歌体操」が最優秀賞を受賞しました。
③	ワイン用ぶどうの生産スタート (4月～)	4年間の試験栽培を経て、ワイン用ぶどうの栽培が机地区の農地2ヘクタールで始まりました。
④	農業委員会 新体制スタート (4月1日)	町長が議会の同意を得て任命した農業委員14名と、農業委員会より委嘱をされ、地域で活動する農地利用最適化推進委員4名の合計18名で、新体制の農業委員会がスタートしました。
⑤	町議会議員選挙 (4月21日)	富士見町議会議員選挙は定数11名に対し12名の立候補があり、4年前に引き続き選挙戦となりました。選挙の結果、4名の新人議員が誕生しました。
⑥	「ふじみまち産業振興センター」開設 (4月22日)	商工業をはじめとする町内産業の総合的な振興を図るため、町と商工会共同で、「ふじみまち産業振興センター」を設置しました。
⑦	「カゴメ野菜生活ファーム富士見」オープン (4月26日)	大平地区に農産物の生産と加工とレストラン・ショップが一体的に体験できる「カゴメ野菜生活ファーム富士見」がオープンしました。新たな観光の拠点としての役割が期待されています。
⑧	ライフライン等保全対策事業 危険木予防伐採 着手 (9月～)	近年の台風被害を受け、長野県、中部電力と連携を図りながら停電を未然に防ぐための森林整備に着手しました。今後も継続して安全・安心な町づくりを進めます。
⑨	太陽光発電設備の設置及び維持管理に関する条例施行 (10月1日～)	太陽光発電設備の設置に対する不安の声を受け、設備の設置及び維持管理に関する新たな条例を制定しました。太陽光発電設備が景観や自然環境と調和し、適正に設置・維持管理されることを目的としています。
⑩	幼児教育・保育の無償化 (10月1日～)	幼児教育・保育の無償化制度が実施され、3歳以上の全園児と町民税非課税世帯の3歳未満児に係る保育料が無償となりました。
⑪	台風19号 襲来 (10月12日)	台風19号による激しい降雨により、大雨特別警報が発表され、初の避難勧告(西山地区・河路地区)と避難所の開設(一次・二次・福祉)を行いました。
⑫	「森のオフィスLiving」オープン (10月18日)	富士見森のオフィスに併設する交流宿泊棟「森のオフィスLiving」がオープンしました。テレワーカーや企業の合宿、移住見学ツアーのほか、町民の利用や交流イベント等の会場としても利用促進を図ります。
⑬	富士見中学校開校10周年 (11月)	富士見中学校が開校して10周年を迎えるにあたり、11月30日に10周年記念行事が開催されました。(詳細は12ページ「教育委員会だより」をご覧ください)
⑭	南アルプスジオパーク認定10周年 南アルプスユネスコエコパーク登録5周年 (11月30日)	南アルプスの豊かな自然とその魅力、このかけがえのない財産を次の世代にも引き継ぐよう活動を続けていきます。



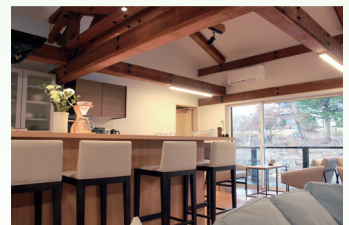
②「諏訪郡歌体操」  
座った状態でもできる体操です



⑦「カゴメ野菜生活ファーム富士見」  
新たな観光拠点の誕生です



⑪「台風19号」  
避難勧告発令は初めてでした



⑫「森のオフィスLiving」  
町の魅力を伝える施設です

## 富士見町民憲章

わたくしたちは、秀麗富士を望み、雄大な八ヶ岳と眺望豊かな入笠山にいだかれた高原の町、富士見町民です。この限りなく美しく、厳しい自然の中に住むわたくしたちは先人の心を受けつぎ、自然を愛し、豊かな調和のとれた田園の町の発展をめざして、この町民憲章をかかげます。

- 一 かけがえのない自然を守り、育てていく町民となろう。
- 一 心身を鍛え、明るく健康な町民となろう。
- 一 教養を高め、香り高い文化を創造する町民となろう。
- 一 仕事に誇りを持ち、産業の発展につくす町民となろう。
- 一 思いやりの輪をひろげ、住みよい郷土をつくる町民となろう。